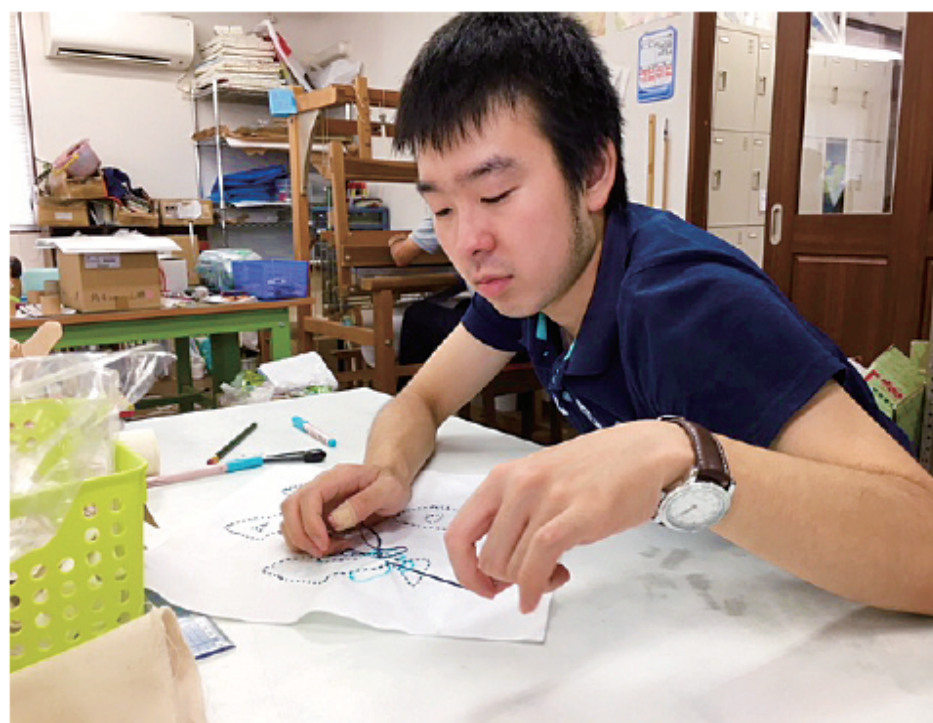


ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 463

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



ふきんに自分でデザインした下絵を描き、等間隔で縫っています。
とても丁寧な作業です。

刺し子

あさやけ鷹の台作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

みんなに愛された市川さん、これからも頑張つて！

市川 秀雄さん
(あさやけ風の作業所)



四月にときわ会に入り、共同ホーム一步の職員として働き始めて約三ヶ月が経ちました。

はじめは、どのような方々がいるのだろう、私なんかに務まるのだろうかという不安もありました。しかし、いざ利用者さんと共に過ごしていくと、想像以上に利用者さん自身でできることも多く、驚かされることもしばしばです。また、徐々に頼っていただけのことや、楽しく笑い合える時間も増え、それぞれの方々と様々な形でコミュニケーションがとれるようになってきたことを、非常に嬉しく思います。利用者さんと楽しむときは楽しみ、悩む時は一緒に悩む。「支える」という考えだけでなく、共に時間や感情を「共有する」ということも大切にしていきたいと考えます。

共同ホームの職員となつて

共同ホーム一步

鶴田 麦穂

中で、共同生活を行っていても、ホームが「自分らしく過ごすことのできる場所」でなければならぬのだと、この三ヶ月間を通して知ることができました。

翌日の通院のため、ホームではなく作業所から自宅へ帰宅することを知ったある利用者さん。しかし「一步でご飯を食べてから帰ります！」「お風呂に入ってから帰ろうかな。」など、少しでも長くホームに居たいという想いがあるとされる発言に、なんだか嬉しく思うことがありました。どの利用者さんにも居心地の良い場所だと思っただけのよう、安心して、自分らしく暮らすことのできる環境づくりをしていくこと、さらに利用者さん一人一人と信頼関係を深く築いていくことは、特に職員としての日が浅い私にとって、毎日の課題です。

わからないこと、学ばなければならぬことはまだまだ山積みだと痛感します。そんな中、日々新しい発見などもあり、それらを楽しむ余裕も少しずつではありますが増えてきました。日々の経験を大切に、これからも一職員として頑張りたいです。

一九八五年に鷹の台作業所に入所し、二〇〇三年、風の作業所新設とともに異動になり、勤続三十二年です。みんなから「いっちゃん」と呼ばれ親しまれてきました。この度、埼玉県グループホームに入居が決まり退所することになりました。いっちゃんは表情豊かで人気者です。リズムにのるとすごいスピードで仕事をやり、やり終えるとニコニコと笑顔でお気に入りの椅子に座って休憩します。

今回は過去のあさやけだよりから、若かりし頃のエピソードを少し紹介します。

○ポータス外出 一九八七年十二月号
スエットスーツ、みんなが買うのをみて自分でも買いたいと思ってきました。お金を出したり商品をもつて買おうとしたり、でもなかなかいっちゃんの足とお腹に合うものがなく、ようやく決まると、それをさっそく履き、鏡のところで満足そうにポーズをとっている。

○成人の日を迎えて 一九八八年二月号
作業所に通う中で、少しずつ自分の意思や感情を表すようになってきました。嬉しときには、手をパチパチたたき、ビヨンビヨン跳び上がって喜びを表現します。いやな時は「ムムムムム」といって、テコでも動かない頑固ぶりを示すようになっていきます。また仲間が遊んでいても、自分から決して中に入っていくことはなかったのですが、最近、仲間が野球をやっていると、トコトコ走って入っていく、ニコニコしながらやる姿も見られます。何よりも表情が明るくなってきたのです。

○仲間紹介 一九九二年十月号
いっちゃんの何よりの楽しみは食べること。仕事の時など、面倒がつて動かないことも度々ですが、食べることに関しては別なのです。みんなと料理を作れば身を乗りだして野菜切り。ポラントイアのおぼろさん達がつくってくれた昼食も「いっちゃん運んで」の一言で、トコトコやってきて運んでくれます。別になまけものではないのです。自分の納得できることは動いてくれます。そして、仕事は、黙々と真面目にやっています。



お母様から
十八歳から三十三年間、色々なことがありましたね。特に旅行とバザーでは親子で思い出がたくさんあります。仲間と一緒に居る時は安心して居る様ですね。毎朝帽子をかぶって喜んで出かける姿が、目に焼きついていてます。

ずっと愛されてきたいっちゃん。新天地でもきつと愛されつづけていくことでしょう。これからも応援していきます。忘れないでね。忘れないよ。

うぐいす班の作業紹介

あさやけ作業所

うぐいす班では現在、男性八名、女性七名の十五名が所属し、月三回平日通所の実習生一名を加えた、職員五名、定期ボランティア二名の態勢で調理器具や箸の袋入れ作業を中心に、ビーズ作業、あさやけだよりの丁合・封入・発送作業等々の仕事と丁合やスプーン入れの練習課題等を行っています。

年齢層が二十歳代から八十歳代と幅広いとともに、障害も様々なので、それぞれの人にあったやり方、ペースで仕事に取り組んでいます。

九名いる五十代以上所員の多くは、働く意欲が強くオーバーペースになりがちなので、適度に休憩をいれ、おしゃべりをしながら楽しい雰囲気でもらうようようにしています。また、健康管理にも重点を置き、昼休みに散歩に行くなどして健康で作業所に長く通えるように取り組んでいます。

おしゃべりしながら楽しい雰囲気です！



うぐいす班の作業風景

ビーズ作業
プレスレットやヘアバンド、メガネチェーン等をビーズで作成し自主製品として販売しています。ビーズの大きさ、色、形、数はそれぞれです。

ビーズ作業をやり始めの頃は比較的大きな穴のビーズのひも通しを苦戦していつていた人も、今ではそれよりもひとまわり小さなものを、スピーディに出来るようになっていきます。また、とても小さなビーズに連続してひもを通すことができるようになった人もいます。



ビーズ作業

共同ホームの職員を対象に救命講習会

6月15日、消防署から講師の方を派遣していただき、ときわ会の共同ホームの職員を対象に普通救命講習会を行いました。11名が参加しました。内容は、心肺蘇生法、心臓マッサージの方法、AED（心臓がけいれんして血液を流すポンプ機能を失った時、心臓に電気ショックを与えて正常なリズムを取り戻す医療機器）の使い方、異物除去の方法、止血法等です。

講師の方のお話はとても具体的で、体験談も交えてわかりやすく話してくださいました。

共同ホームでは、職場の性質上、事故などが起こった時に職員が一人で対応しなければならないことが予想されます。場合によっては、救急車が到着するまでの数分間の職員の対応が、



その後の状況を大きく左右する可能性があります。そういった意味では、今回のような講習は切実に必要な内容だったと思います。一度だけでなく、何回も受講して身体で覚え、いざという時に慌てずに適切な対応ができるようにしていきたいです。

なかなか気持ちや仕事に向かわない所員は、落ち着いた気持ちで作業所生活を送ることをまず第一に考え、そのうえで課題から仕事への移行と、仕事をやる時間が長くなるように取り組んでいます。

主な仕事の様子には、
調理器具と箸の袋入れ作業

この作業は、①商品のバーコードにラベルを貼る②商品を一定のむきで袋に入れる③袋をテープ止めする④袋に入った商品に値札を貼る⑤数まとめて大きな袋に入れる工程で、所員は①、②、④の工程を行っています。

商品や袋に入る工程では、商品の形や大きさと厚みがまちまちで、入れる袋も商品ごとに違うので、職員が入れる袋ごとの大きさを確認し、商品分け、それを手元においてある袋に入れていきます。視力



箸の袋入れ作業

の弱い所員は、商品や袋に顔を近づけたり、手で触った感覚で商品のむきや袋の開く部分を確認しながらやっています。また、袋に入りにくいものは、他の所員が手伝い少し商品の先端を袋にいれ、それを最後まで入れていくという協力も行っていきます。紙の封入とは違い、厚みやでっぱりや、裏側には台紙と製品の結び目があり、それが袋に引っかかってしまうことがあるのでそこを苦労して行っています。

2017年度事業活動計算書 (2017年4月1日~2018年3月31日)

Table with columns: 勘定科目, 本年度決算, 前年度決算, 差異. Rows include 収益 (就労支援事業収益, 障害福祉サービス等事業収益, etc.), 費用 (人件費, 事業費, etc.), and 繰越活動増減差 (前期繰越差額増減差額, etc.).

2017年度貸借対照表 2018年3月31日現在

Balance Sheet table with columns: 科目, 当年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部 (流動資産, 固定資産, etc.) and 負債の部 (流動負債, 固定負債, etc.).

平成二十九年 度 社 会 福 祉 法 人 と き わ 会 決 算 報 告

2017年度資金収支計算書 (2017年4月1日~2018年3月31日)

Statement of Financial Activities table with columns: 勘定科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 事業活動による収支 (収入, 支出), 施設整備等による収支 (収入, 支出), and 繰越活動による収支 (収入, 支出).

私たちは障害のある人たちが働き、生活できる地域をめざしています。

KODAIRA わいわいバザール

バザー品をご提供ください！

物品提供の受付開始 8月20日(月曜日)より

受付専用ダイヤル ⇒ 080-5642-8295

この回線しかありませんので、つながりにくくご迷惑をおかけします。

- ◆ 受付時間 月～金曜日の午前10時～12時、午後2時～4時です。
- ◆ 電話受付締切 9月25日(火曜日)16時まで

※宅急便またはお持込の場合、9月28日(金曜日)までに下記までをお願いします。

- ◆ ご提供いただきたいもの
衣類、おもちゃ、靴、かばん、新品食器・新品日用品・古本
- ◆ 回収地域 小平市内のみ。
- ◆ 配送先 〒187-0032 東京都小平市小川町2-1159 あさやけ作業所

●バザー品ご提供にあたってのお願い

あさやけでは、毎年家族会のご協力のもと、一つ一つ仕分けや値つけしております。バザーで販売するため、明らかに使えないもの、すぐに処分が必要なものはご遠慮下さい。お引き受けできない場合がございます。衣装ケース等での回収は受け付けられないので、段ボールやビニール袋等で梱包をお願いいたします。

○回収できるもの

衣類、おもちゃ、靴、かばん、新品日用品・古本

- 1 衣類について
①バザーで販売するものです。クリーニングや洗濯をしてあるもの。
②糸のほつれや虫食いがないか、ボタンが取れていないもの。
汚れの目立つもの、破れ等のあるものはご遠慮ください。
- 2 新品日用品について
未使用の(食器・調理器具) タオル、石鹸、など

×回収できないもの

- ・使い古した食器、衣類、下着、ユニフォーム・体操着(学校や会社の名前が入っているもの)
- ・家具全般、大型電化製品・古い石油ストーブ、布団・座布団・古寝具・ミシン・縫機
- ・スポーツ用品(スノーボード板、ブーツ、ゴルフバッグ・スキー)
- ・健康器具(マッサージ機、ランニングマシン、ぶら下がりの機など)
- ・タイヤ・ホイール・チャイルドシート
- ・ガラス付き人形ケース・ペット用品全般
- ・食品・種本鉢・位牌・仏壇飾りなどの信仰物
- ・百科事典や雑誌などの大型本
- ・今すぐに処分となる物

開催日時/2018年10月7日(日)・8日(祝・月) 都立小平特別支援学校

- ◆ お問い合わせ バザー実行委員会事務局 あさやけ第二作業所内
042-345-1564(担当:丸山)

■ 8月の廃品回収は、お休みとさせていただきます。次回の回収は9月になります。

廃品回収のお知らせ

6月の廃品回収の回収量は9,360kgでした。内訳は新聞6,570kg、雑誌・ダンボール2,790kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて149,670円でした。

次回は9月15日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。